



“たいせつ”がギュッと。

阪神電車
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY

阪神電気鉄道株式会社
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO.,LTD.

〒553-8553

大阪市福島区海老江1丁目1番24号

<http://www.hanshin.co.jp/>

NEWS RELEASE

経営企画室(広報担当)

2016年2月2日

阪神甲子園球場に新たなシートが誕生します ～『ボックスシート』『ブリーズペアシート』を新設～

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：藤原崇起）が運営する阪神甲子園球場では、リニューアルした2009年以降、ご来場の皆さまに楽しんでいただけるよう数種類のシートを新設し、様々な野球観戦スタイルを提供してきましたが、この度、さらに新たな野球観戦スタイルを提供できるよう、内野席部分に「ボックスシート」と「ブリーズペアシート」と名付けた2種類のシートを新設することとしました。

これらのシートは4月8日（金）のプロ野球公式戦からご利用いただけます。なお、各シートの発売方法などの詳細は、後日、阪神タイガース及び阪神甲子園球場公式サイト等でご案内します。

各シートの概要は、次のとおりです。

【新シートの概要】

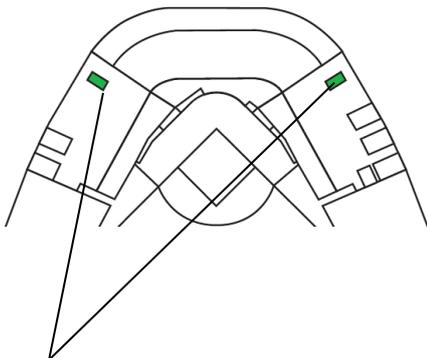
1 ボックスシート

アイビーシート・ブリーズシートの上段部分に、5～6名さまのファミリーやグループでご利用いただけるボックス（計4ボックス）を新設します。

囲われたプライベートな空間を確保したうえで、ボックス内の床は段差のない全面クッション仕様とし、寝転ぶこともできるなど、自由なスタイルで観戦いただけます。お子さま連れのお客さまも周囲に気にせず、ゆったりと観戦をお楽しみいただけます。

※本シートは銀傘柱の影で、内野部分が見えづらい箇所が一部含まれますが、シート内を自由に移動できますので、位置・体勢を含め、お客さまのお好きな観戦スタイルでお楽しみいただけます。

<ボックスシート設置位置>



設置場所・設置数：アイビーシート 2ボックス
ブリーズシート 2ボックス
定員：アイビーシート…1ボックスにつき5名
ブリーズシート…5名と6名
(計21名)
販売対象：一般販売

<ボックスシート イメージ>



※イメージのため完成時の仕様とは異なります。

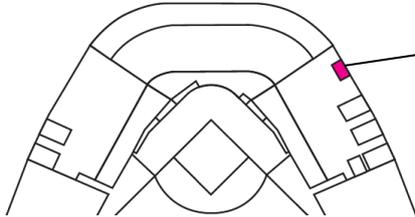
2 ブリーズペアシート

ブリーズシートの最上段部分に、座席のクッション性を高めたカウンター付きの2名掛けシートを新設します。

カウンターを利用して飲食を楽しみながら、ゆったりと快適に観戦をお楽しみいただけます。また、隣席との間隔をとり、2名だけの空間を確保したうえで、スムーズに出入りできる配置としました。

※シートには2名の間に、出し入れ可能な肘掛けを設置していますので、それぞれの空間を確保することも可能です。

<ブリーズペアシート設置位置>



設置場所：ブリーズシート最上段部分
設置数：6シート（3シート×2段）
定員：1シートにつき2名
（計12名）
販売対象：一般販売

<ブリーズペアシート イメージ>



※イメージのため完成時の仕様とは異なります。

【阪神甲子園球場 座席数の変更について】

この度の新シート設置に伴い、阪神甲子園球場の座席数は、2016年3月5日（土）以降、次のとおり変更となりますので、併せてお知らせします。

現在 47,541席 → 2016年3月5日以降 47,508席（33席減）

以 上